

FD委員会便り

令和 2年 2月 21日発行
新潟県立大学 FD 委員会

令和元年度公開授業が下記の通り開催されました。

授業科目：特殊講義 B

授業テーマ：国際政治理論における現実主義の諸側面
ーグループ・ディスカッションを含む

担当教員：政策研究センター 山本吉宣 教授

日 時：令和元年 12 月 9 日（月） 16:30～18:00

場 所：1257 講義室

<講演の概要>

この日の講義では、まず初めに山本教授より、本日の発表・討論の手順等について説明がありました。そのあとは、4名の1年生の学生たちが、自分たちで進行していました。

まず4名の学生が発表を行い、「米中関係と覇権の帰趨」、「米中関係について（中国は覇権国になれるか）」、「米中の貿易摩擦（覇権争い）をめぐる両国の利点と欠点」、「米・中露の力の均衡」などのテーマで、各自の資料情報の整理、分析の成果を述べていました。いずれの発表も、背景としての歴史の流れ、米中露各国の政治、経済、軍事、外交などの動向、政治学上の概念の定義とその説明、現状の分析、今後の予測や見通し、展望などが述べられていました。

発表のあと、4名で発表内容について討論を行いました。参加学生は1年生ですが、国際政治に関する自分の担当分野について既に多くの知識、認識を身につけており、また物怖じすることなく自分の意見を述べていました。

この日、参加者自身が直接目にすることはありませんでしたが、この日の発表・討論に至るまでに、山本教授の講義と周到な助言指導、学生自身の資料収集、整理、分析等の過程があったものと推測されます。貴重な授業を参観させていただきました。



＜公開授業参加者アンケートから＞ 抜粋（趣旨を変えずに編集してあります）

1. 研修会の感想

- ・受講生が1年生にも関わらず、発表の準備もしっかりしていたし、最近の国際情勢についてもよく調べて発表を行なったと思う。ただ、個人発表を行なってからディスカッションをするので、受講生が少人数でないと難しいと思った。
- ・議論が活発でとても良かった。これに至る指導のご苦勞に敬意を表します。
- ・学生は積極的に、自主的に、資料を集めて分析していた。また、積極的に討論に参加していた。
- ・学生の発表を聞いたところ、1年生としては高い表現力だと思われます。発表のテクニックについて、まだ改善する余地は勿論ありますが、授業の内容について深く理解しているという印象を受けました。ディスカッションも、先生方が見ていて緊張感する中、深い内容をよく自分の言葉で表現することができました。皆テレビのコメンテーターみたいで、面白かったです。
- ・旧来のパワーポリティクス（軍事力、経済力）中心の議論だと思って聞いていたが、ディスカッションの最後の方で、ソフトパワーに近い点に話が及びそうになったところで時間切れで、残念。
- ・Impressive presentations by 4 students. Intersting student-student discussion. For 1st grade students, this was very mature and advanced thinking.
- ・1年生が資料作成、発表、ディスカッションしている姿が良かったです。
- ・山本先生の講義を受けたあとで、学生たちが自ら調べて発表し、さらにディスカッションする姿に感銘を受けました。

2. 講習会で学んだことを、今後どのように活かしたいと考えますか。

- ・自分の授業にも、グループ・ディスカッションを取り入れて、やってみたいと思った。
- ・世界事情に対する関心を喚起することは課題です。
- ・英語による教育の関係か分からないですが、学生が英語力で、このようにディスカッションすることがあまり見たことはなかったです。今後授業のやり方について考えさせられました。
- ・学生の基礎知識や洞察力が一樣でないことが多く、演習の授業の運営は難しい。
- ・Excellent.
- ・1年生の授業は必修のものが多いですが、少しでもディスカッション等の時間をとっていきたいと思います。